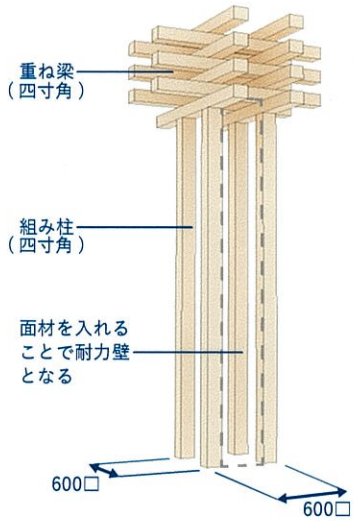


### ● 構内での位置づけ

計画地はキャンパス全体の中で、体育館や運動場エリアを除くとほぼ中央に位置しています。西端の運動場からつながってくる植栽帯を、カフェの南側として東側の南北軸まで通して東西のつながりを強めます。南面、東面のガラス面のどちらからも自由にアクセスできる、通り道のような建築、道からゆるく隆起した透明感のある広場に、軽やかに小径材の屋根がかかった建築です。

### ● 600角の組み柱が二間おきに並ぶダブルグリッド架構

組み柱の四面は、必要に応じて耐力壁となったり、透けた壁になります。組み柱の他には、耐力壁を一切必要としない新しい木造躯体のあり方を提案します。ダブルグリッドを構成する四寸角の組み柱の上には同じく四寸角の梁桁がタテヨコに重なりあって、大きなフラットスラブを形成します。四周をガラスとした、これまでの木造建築では実現できなかった、透明でユニバーサルな空間です。



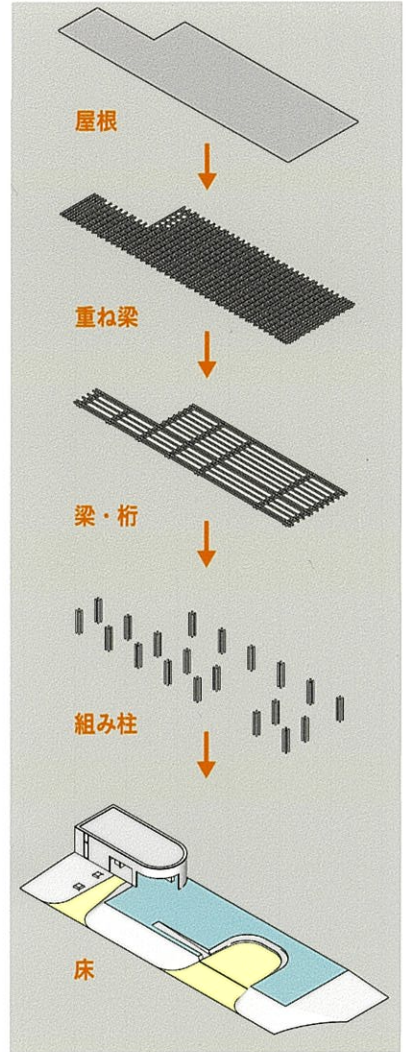
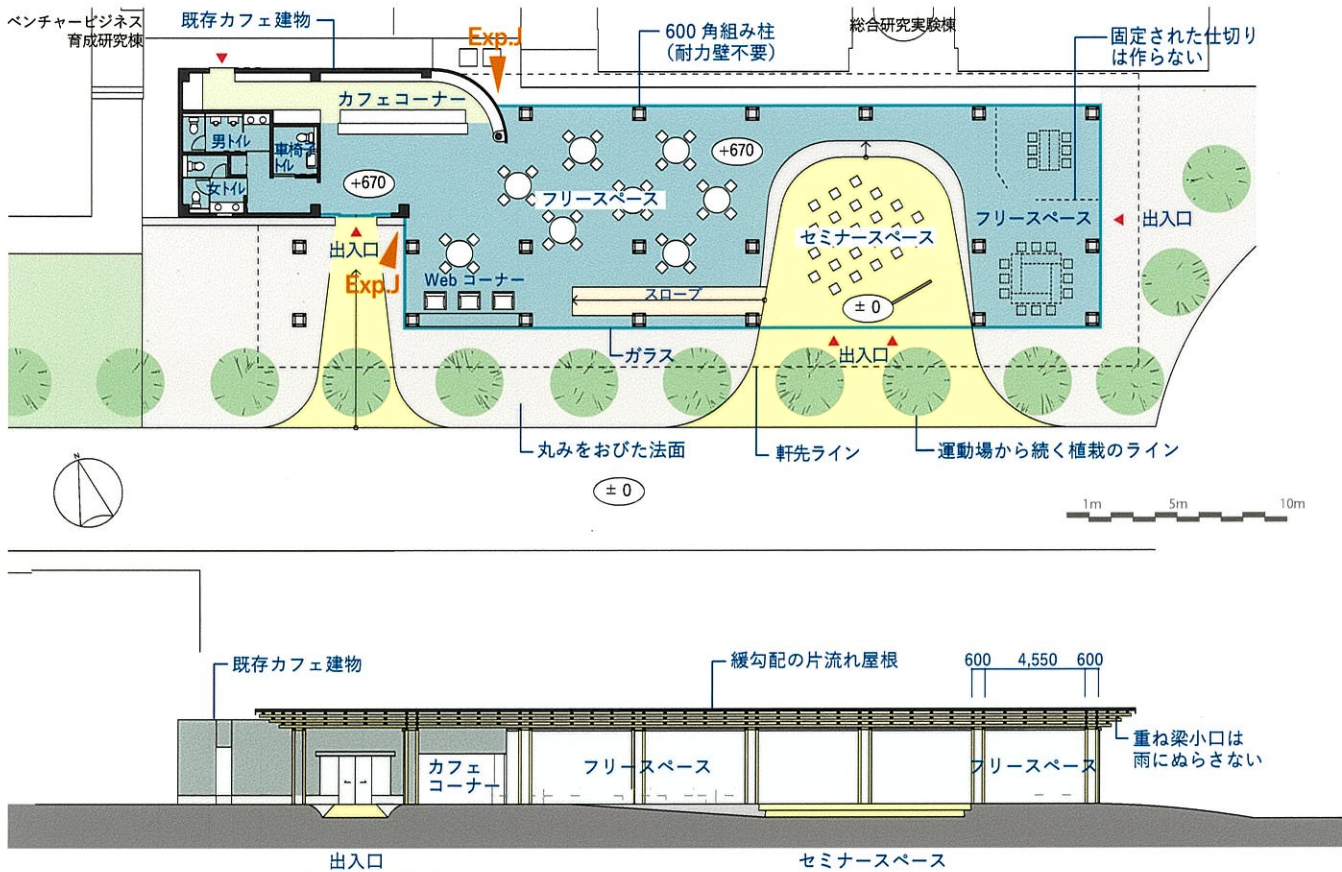
### ● 先輩や企業が立ち寄り、在学生が迎える港のような

徳島大学の構内に残っていたかつての阿波水軍や武家屋敷の「舟入状遺構」を模したドック状のセミナー室(知の入会地)を中心に、矩形の小径材架構の下に広がるフリースペース。セミナースペース、WEBブースなどはその都度自由に設けられます。同時進行する活動を相互に認識することで刺激し合い、あらたな出会いや活動を誘発する空間で



### ● 建築・設備・音計画

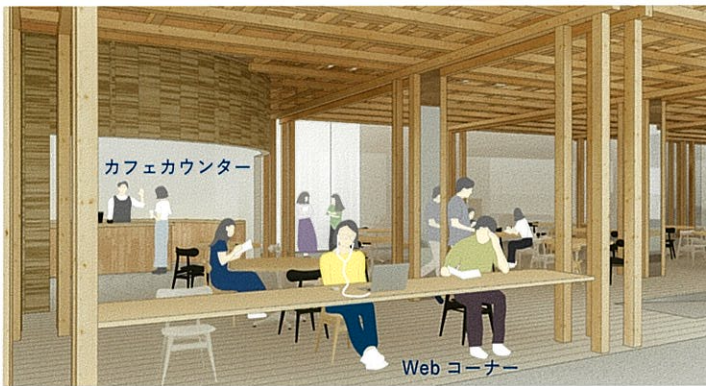
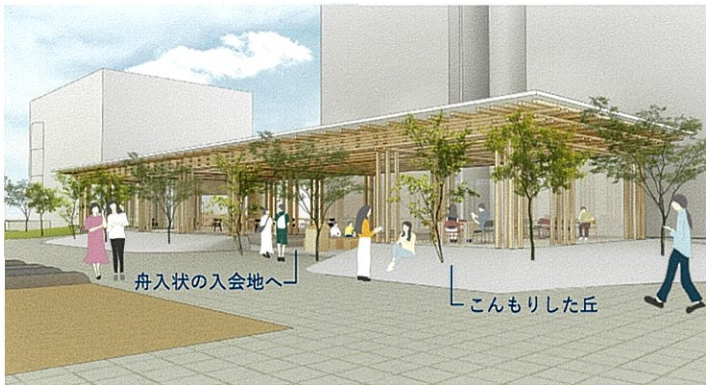
既存カフェを活用した、水回り設備棟と、四面ともにオープンな木造フリースペースを明確に分けます。適切なエクステンションジョイントによって、地震時の被災規模を小さくします。床からの放射熱空調と、天井からの空調とを組み合わせ、快適な空間を作ります。600角の組み柱は設備配管のパイプシャフトでもあり、サイネージ等を組み込むこともできます。四周のガラス面の反射音を、重ね梁の天井、組み柱で拡散、吸収させて、快適な音環境をつくります。



## 『知の入会地にかかる小径材の屋根』

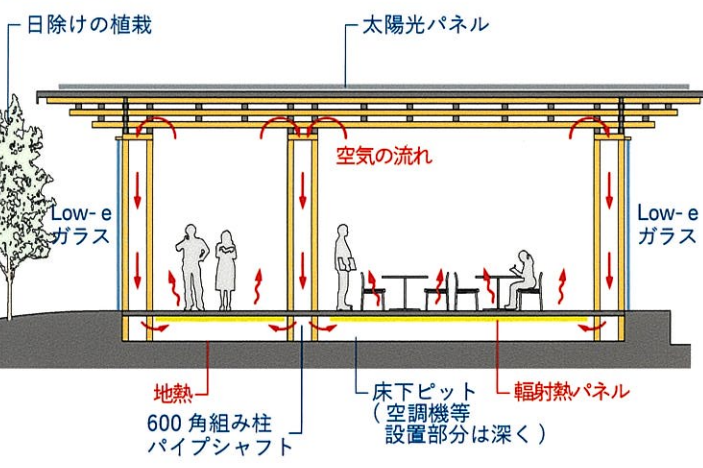
### ● 各専門領域が集まって、 commons を考える

例えば、ディスプレイ配置とグループワークや家具レイアウト、ミーティングの相関関係。平常時と非常時の建物の使われ方。復興のプロセス。耐力壁、耐火性能、木造耐震。予算も含めた、長期的に見た公共施設の最適化。グリーンカーテン。BCP、防災対策。臨場感映像技術、プライバシー保護技術、ディスプレイ展示の知見。木材の高耐腐朽性。公園の造園設計...。イノベーション commons の最適化にかかわることができる研究室が実はこれだけあります。設計段階での意見交換や実証実験をしない手はないでしょう。オール徳島大学の参画を要請します。



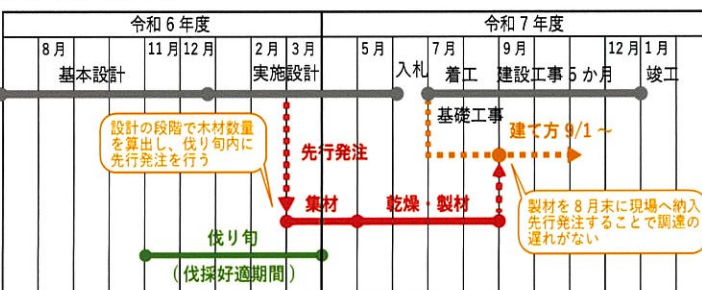
### ● 省エネ～ZEB

深い軒をつくって日射を制御することや、十分な断熱遮熱、Low-eガラスの採用など、基本的な建築計画でできる省エネを、まずは確実にしておきます。その上で、ほぼフラットな屋根面を活用する太陽光発電による創エネ等によって、できるだけZEBに接近します。将来的には高性能な蓄電池を備えることで、厨房を備えた災害時のキャンパス内の基幹施設のひとつとしてのオフグリッド性を高めます。また、木造であることや、県内や地域で調達することによるLCCやホールライフカーボンの減免など、外皮性能では単純に表れてこない環境負荷の極小化につとめます。



### ● 山と相談する材料調達

単一材材とすることで短期間での集材を容易にします。間伐材や小径材の芯持ち材をベースに、大径材の芯去り四丁取りも活用して、いろんな山からの調達を可能にします。8月から12月の工事予定期間は伐り旬と重ならないため、1月から6月に設定されている実施設計の進行中、3月には部材サイズと数を読んで先行発注を行う必要があります。発注が偏って山側に負担がかからない様、事前に素材生産協同組合や森林づくり機構、県森連他と協議しておきます。深い軒による木部の保護、メンテナンス性の向上を図ります。木材小口をできるだけ濡らさないことなど、木造建築の基本的な作法を遵守し、適切な処置を怠らないことが木造建築の寿命を延ばすことにつながります。



### ● 事前復興への接続

四寸角の単一材材で構成される徳島県木造応急仮設住宅と連携して、木材のローリングストック(下図)を後押しします。四寸角だけでできる建築が増えていくと、備蓄倉庫以外にも、山元にも製材所にも工務店や大工さんの倉庫にも現場にも、そこそこに四寸角材がある状態になり、発災時には「仮設住宅の材料が準備されている」という状況にならないかという運動の、旗艦建築になります。

